

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (13時30分)

引き続き一般質問を行います。受付番号第4番、秋田谷光彦君の一般質問を許します。登壇願います。

5 番 秋 田 谷 それでは、議長のお許しが出ましたので質問をさせていただきます。まず、受付番号第4号、質問議員、第5番 秋田谷光彦。件名、松田町の人口問題について。よろしく願いいたします。何しろ初めてのことでありますので、失礼があったらお許しく下さいませ。

それでは、(1) 松田町は平成7年前後が人口のピークでしたが、今や3,000人以上の町民が減少し、特に生産年齢人口の減少と若年女性層の流出が顕著です。国立人口問題研究所からは、約17年後には町民減少により行政維持が困難となり、消滅しかねないと指摘されております。町は1万人を目標にされてはいますが、方策をお聞かせください。

(2) 町には宅地利用可能な町有地がどのくらいありますか。町有地を利用して高層化住宅を建設し、住民を増やす考えはないでしょうか。仲町屋町営住宅の跡地などは、その可能性があるのではないかと考えられます。人口増加と人口構成の変化、そして松田町の活性化の一步になるのではと思います。町長のお考えをお聞かせください。

町 長 それでは、秋田谷議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

1つ目の御質問につきましては、平成7年の国勢調査において、松田町の人口は1万3,270人で、その後、人口は減少を続けておりましたが、令和2年の国勢調査では1万836人となり、人口減少カーブが緩やかになっておりましたけれども、本年12月1日の人口統計調査では1万320人となり、コロナ禍の影響により減少スピードが速くなっていることから、非常に危機感を抱いているところでもございます。

本町においては、先ほど申されたようにですね、平成26年5月に国立社会保障・人口問題研究所が公表いたしました日本の地域別将来推計人口を踏まえ、日本創生会議において2040年までに消滅可能性の危機に直面するという試算結果が発表されました。

そうしたことを踏まえて、第6次総合計画として2040年の本町の目標人口を1万人として、その目標を達成するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる3つの施策等を展開しているところでもございます。

1つ目に、合計特殊出生率を上げる。その方策として、出産・子育て応援事業の松田すこやか祝金や出産・子育て支援の給付金、産後ケアに係る助成、3歳未満の第2子の利用者負担額の無償化、妊産婦健康診査助成や赤ちゃん訪問事業、妊産婦・新生児・乳幼児等訪問指導、不妊治療費助成や不育症治療助成、子育て支援センターの機能充実や小児医療費助成など、高校生まで上げるなどによる子育て環境の充実を展開しているところでもございます。

2つ目に、社会移動による転出超過を防ぐ。その方策として、魅力的な教育環境の整備、ICTや英語教育の充実、給食費の助成、幼稚園3年保育やバス無料送迎、AIデマンドバスの実証実験、町内シティプロモーション用のパンフレットの作成及び配架、関係人口創出イベントの開催など、移住・定住希望者へつなげていく取組を進めております。すみません、ちょっと順番を間違えました。AIデマンドバスのくだりのほうからいきます。町内の各種公園の整備など進めております。さらに、町全体に関わる町の魅力を向上させるための一つとして、新松田駅周辺整備の事業の実施に伴う協議を進め、安全性や利便性の向上、中心市街地の活性化、子供たちが魅力的に感じる施設整備、集約施設でも住居複合施設や商業店舗等の創出につなげていくなどの駅周辺整備事業を進めております。

3つ目に、安定的に定住人口を確保する。その方策といたしまして、新たな宅地、住宅の供給量の増加策として、町内の民間遊休地や町有地の利活用、空き家・空き地の有効活用として、空き家・空き地バンクの充実や空き家の改修・解体費補助、空き家の所有者意思調査や移住相談所の設置、大規模な移住フェアへの出展、シティプロモーション用のパンフレットの作成、配架、関係人口創出イベントの開催など、移住・定住希望者につなげていく取組を進めております。その結果、現状ではコロナ禍による人口の社会減少が抑制されつつあり、町内の分譲地が約90区画造成されるなど、今後定住人口が増えることに

期待をしておりますが、人口減少抑制には不足しておりますので、今後も本取組を継続して目標達成に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、2つ目の御質問についてお答えをいたします。まず、御質問にあります宅地利用が可能で比較的広い、主な町有地について申し上げます。市街化区域内の町有地は、町営仲町屋住宅地、町営沢尻住宅地、町営中河原住宅地、旧神奈川県水道企業団公社跡地、旧健樂園ゴルフ場跡地でございます。

現在、旧神奈川県水道企業団公社跡地につきましては、町内の事業者へ貸付をしており、小規模な湯の沢地区の町有地につきましては、1区画ですが、10月末に落札者が決定し、現在は土地売買契約を締結するなど、利活用ができる土地については順次対応を進めているところでもございます。

町営仲町屋住宅地は、本町の町有地の中でも比較的大きな町有地ですので、将来に向けた利活用について現在検討を行っておりますが、敷地内にはまだ一部住宅が残っており、入居されている方や町と土地の借地契約を締結して居住されている方もいらっしゃいますので、実現するためには、その方々と丁寧に打合せしながら進めていく必要性があります。

御提案頂きました高層化住宅の建設については、私も人口増加策の有効な方法として考えておりますので、引き続き丁寧に準備を進めてまいりたいというふうに考えております。今後、少子高齢化社会を迎えるに当たり、人口増加策の一つでもあります移住・定住を促進し、若年層や子育て世代の人口を増加させるためにも、町営仲町屋、町営住宅だけでなく、ほかの町有地についても様々な角度から可能性調査やサウンディング調査を行い、地域に事情やおのこの状況などを考慮し、民間事業者への貸付や売却、またはPFI法に基づく官民連携事業の手法などを検討していきながら、魅力ある住まいづくりに向けて住宅環境整備を進めてまいりたいと考えています。以上でございます。

5 番 秋 田 谷 私は平成19年頃からですね、町民減少に手を打たなければいけないのではないかと。飲食店組合長をしている当時、我々飲食店が人口が減りますと、すぐ影響を受ける業種でございましたものですから、…そして、商工飲食店組合組合長として、そして商工振興会会長時代、組合員、振興会会員、そしてその以

前には町政、町議会にも警鐘を鳴らし、松田町総合計画審議会などの会議でも繰り返しこの人口問題を発言してきました。今や松田町は、町民の数が1万人を切ろうとしております。いよいよ危機的状況になってきました。私はこの危機的状況をはじめ、私ども議会、そして町民の皆さんも、この機会を共有すべきではないでしょうか。松田町は町民減少を止める、維持するのではなく、町民増加と再生に向けて、思い切った政策を取る考えがありませんか。町長のお考えをいま一度お聞かせくださいませ。

町 長 おっしゃるとおりというふうに私も認識をしております。これまではですね…これまでというか、今現状も含めて進めさせていただいていることはですね、町のとにかく町有地で遊んでいるところを、うちが持っている、ある意味、言葉は悪いですけど、1円の価値もない。民間の土地であれば、固定資産税ぐらいいは入ってくる。そういうふうなことがありますして、遊休地という言葉を使いますけども、そこを早く形にしていきたいということでやっております。貸せるところは貸して、売るところは売ったりとかしていますけども、先ほど御提案頂いた場所とか、私が先ほどちょっと比較的大きいところを言ったところで、権利関係が全くないところは健楽園のゴルフ場の跡地についてであります。その辺りもディベロッパーさん…ディベロッパーといいましょうかね、そういった開発をするような方々にいろいろお伺いをしているところもありますので、こういった御質問をですね、背負わせていただいて、追い風として取り上げてですね、どんどん進めていけるところは進めてまいりたいというふうに考えます。以上です。

5 番 秋 田 谷 先ほど町長もおっしゃったように、松田町は大規模な事業を誘致する広い、まとまった土地はないんです。しかし、先ほども言われたように、小規模なマンションを建設する土地は、それなりにあるはずですよ。先ほどの仲町屋町営住宅跡地については、先ほど住民がまだ残っておられるということでございますが、これは補償するなり何かいろいろな手だてをしながらやっていけば、人間同士なので話が通じると思いますので、ぜひこの土地もお考えしていただきたいなと思っております。

また、県土木事務所跡地そして現町営駐車場などは最適な場所ではないかなと思っております。特に町営駐車場に至っては、平野町長時代には高層マンション計画があり、組合事務所までできた経緯もありました。当時は1万3,000人ぐらいの住民がおられたわけですが、平野町長はもっと人口を増やそうということで取り組んだのではないかと私も思ったし、その話もお聞きしました。

松田町は、子育てには最適な土地柄だと私は思っております。山あり、川あり、霊峰富士山を眺め、箱根山・丹沢山系に囲まれ、交通の利便性も恵まれすぎるほどの立地にあります。町は若年層の医療の無料化や、町長や行政の尽力で木造のすばらしい小学校も完成して、子供を迎えるのには万全なところでございます。隣町の開成町さんが人口増加率が日本1位になり、新設の小学校を造るほど町民が増加したのは、比較的安価な開成駅隣のマンション群が始まりだと思っております。松田町もそれらを参考にさせていただき、仮に町有地を開発業者、今風に言うとディベロッパーというんですか、に託して、子育て専用マンションを建設していただき、例えば1階、2階は松田町が自由に利用できるなど条件をつけて、それ以上の上層階は業者が分譲するなり、賃貸するなり業者に任せ、そこに子育て家族を町外から誘致、住んでいただくのも一つの方策ではないでしょうか。業者は分譲なり賃貸で利益を上げて、建設費を…頂き、町には住民税などが、税金が入ります。また、入居者は土地代がない分、安価で建設でき、そして安価な金額で住宅を取得できるのではないかと、私はそのように考えます。松田町の活性化や、松田町の逆ピラミッドの人口形態の改善にも大いに役立つはずですが、これは町民とのコンセンサスが必要なのは当然ではありますが、町長のお考え、または関係の課長にでも結構ですので、お答え頂ければと思います。

総務課長　　まず、町有地の管理の立場のほうから申し上げさせていただきたいと思えます。先ほど町長の答弁のほうにもございましたが、町内の市街化区域内の比較的大きな町有地は、先ほど申しました仲町屋住宅であったりとか、沢尻住宅であったりとか、健楽園のゴルフ場とかございます。その中で、権利関係がある

ところとか、権利関係がないところというお話の中で、一つの手法としまして、例えば権利関係のないところについて、例えば宅地分譲にするとか高層マンションにするとかいうような、いろいろな可能性を、これから例えば業者さんに可能性を調査してもらったりとか、あと業者さんに提案を頂くようなサウンディング調査をしながらであれば、その中で有効活用できる町有地を順番にやっていたらなというのがまず1つでございます。

その例えばマンションにするのか、宅地にするのかというのは、その土地の位置とか、それからその土地の利用状況とかにもよりまして、いろいろ考え方もあろうかと思しますので、そこら辺は慎重に内部で調整をしながらですね、よりよい、先ほど町長がお話がありましたが、有効活用ができる土地から順次処分しながら、検討、活用ができればというふうに考えているところでございます。

- 5 番 秋 田 谷 新松田駅周辺整備事業も、一日も早く完成してほしいわけですが、いまだにはっきりした…はっきりとしためどが立っておりません。しかし、先ほど私が申し上げましたように、こんなやり方、子供じみたやり方かもしれませんが、こんなやり方もあるし、同時進行、新松田駅前の整備事業と一緒にこの子育てマンション事業と一緒にやっても、建設はディベロッパーさんをお願いするわけでございますので、町にはそれほど同時進行しても負担はないのではないかなと私は思っております。松田町再生に向けて、行政、議会、そして町民の皆さんと共に英知を結集し、行動しなければいけないときは私は今、来ているのではないかと、私はそのように考えて危惧しております。

人口は力なり。これは歴史が証明しております。人口なくしては、町の力が失われてしまいます。松田町は若年生産人口が減少し、そして若年女子の減少、そんな人口形態から、自然増は今のところは望めません。全国の自治体は、住民招致のサバイバル時代に入っています。以上、私は質問なのか提案なのか、よく、何とも言っていないのか分かりませんが、初めての質問で大変方向性が違うのかもしれませんが、どうかひとつよろしくお許しを頂きたいと思い、そして質問を終わらせていただきます。何か最後に町長のほうからありま

したら、一言お願いいたします。

町 長 貴重な御提案、ありがとうございます。ちょっと時間がたちましたけども、今、比較的農業というか、畑とかでしか使えなかった生産緑地だったところが徐々に外れてきていて、そこがもう売りに出るような感じで、一般的な戸建ての住宅も、町屋のあたりなんか特にまた増えてきたような状態でもありますし、そういったのも含めつつやっていく必要があるというふうにも考えております。松田町としては、少なからず年間…この計画立てたときに、少なからず年間30棟ぐらいは新築の物件が成約までいって、そこで若い人たちだけじゃないけど、人が増えて、そこで少しずつ自然増減を補って行って、あとは社会的にはもう、今おっしゃるように、ほかから松田町に引っ越してもらわなきゃいけないので、そこで引っ越してもらった人と、出て行くのはどうしても出て行っちゃう、しょうがないところをとんとんにもっていくというふうなことで今やってますけども、そこが、これからようやくきたかなという感じもします。ただ、それだけでもほんと足りないなので、今御提案頂いたようなところの部分については、しっかりとですね、見据えて進めていく所存です。

ただ、1点だけ、ごめんなさい。仲町屋の住宅と沢尻の住宅のあたりに、当然サウンディングみたいなことをやっているときにですね、町の持ち出しがなくて、建設ができるのが一番いいと思ってますけど、私たちがちょっと今のところ当たったところからすると、ちょっと町の負担がどうしてもあるというようなことがあります。今後もですね、そういったことをとにかく負担を減らしつつやっていかなきゃいけないので、駅はとにかく本丸なので、こういったところでお金使った分、駅でやるときに現金がないということだけないようにだけは、ちゃんとしっかりと見据えてやっていきたいというふうに考えます。以上です。

議 長 よろしいですか。

5 番 秋 田 谷 どうもありがとうございます。終わります。

議 長 受付番号第4号、秋田谷光彦君の一般質問をこれで終わりにいたします。

録画の操作の間、しばらくお待ちください。